

あきる野市
初雁区画整理

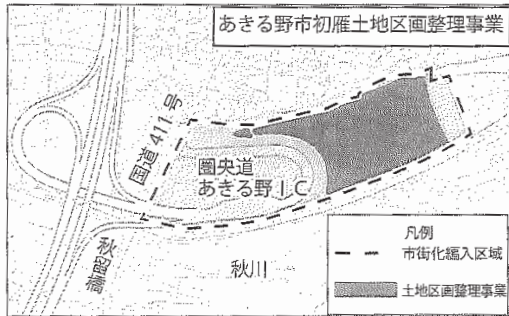
組合設立が認可

業務代行者にエム・ケー

あきる野市初雁土地区画整理組合の設立が1日に東京都から認可された。圏央道あきる野インターチェンジ（IC）に隣接した土地を開発するもので、5日に組合を設立する。今後は業務代行者であるエム・ケー（日野市）が用地造成を手掛け、進出企業が7月から建築工事を進める見通しだ。事業施行期間は2017年3月31日まで。

所在地は牛沼字初雁。2区画を確保しておの一部分で、敷地面積は約2・9畝。あきる野定。

ICと国道411号に隣接し、JR五日市線秋川駅から1・2キロに立地す



土地区画整理事業に向けた取り組みは、2000年の第1回土地利用に関する勉強会を皮切りに開始。同年に勉強会から業務代行者としてエム・ケーが要請を受け、地権者とあきる野市の三者が一体となって事業を進めることになった。

あきる野

ICの交通利便性を生かした新たな産業基盤の形成

成や、適切な土地利用計画を定めて流通業務施設の立地、雇用の場の創出を図ることをまちづくりの基本方針に掲げ、15年4月に初雁土地区画整理組合設立準備会（地元組織）を設立。エム・ケーが地権者をまとめ、土地を一括購入して企業誘致と土地の販売を行う。地権者は39人。同市では8番目の土地区画整理事業で、圏央道の完成後では初めての開発となる。